帯広百年記念館ワークシート　アイヌ文化　2023.0510 ver.

年　組　名前

帯広百年記念館のアイヌ文化コーナーから
クイズです。
展示(てんじ)されている資料(しりょう)（実物や写真）や、
パネルに書いてある説明(せつめい)をよく読むと答えが
わかるよ。じっくり見てみよう！



【狩と漁】

解説パネル 3 を読もう！

山猟(やまりょう)は、食料(しょくりょう)や毛皮をえるために行われました。捕獲(ほかく)した動物は、
[　　]
や、
エゾライチョウやカモ類(るい)といった鳥類(ちょうるい)などです。
猟(りょう)ではおもに [　　] の毒(どく)を用いた弓矢が使われましたが、
さまざまな「わな」も使われました。

◆アイヌ語で「イレㇰテㇷ゚」とよばれるシカ笛はどれ？　○をつけよう

1.



2.



3.



◆これは　なにをつかまえるための道具？　○をつけよう

1．シカ　　2．クマ　　3．サケ





【植物採集（さいしゅう）】

◆これらの道具のアイヌ語はなに？



編み袋（あみぶくろ）



荷縄（になわ）



ガマ製（せい）かばん

◆アイヌの人びとが食べていた「エハ」はどれ？　○をつけよう

1．クルミ



2．ヤブマメ



3．ヨモギ



【料理のメニュー】

◆下の料理はアイヌ語で何という？



魚の鍋もの



イクラ入りおかゆ

◆何の繊維を乾燥させた保存食？　○をつけよう



1．ウバユリ　　2．ギョウジャニンニク　　3．ヒシ

トゥレプアカム

【衣服】

解説パネル 15 を読もう！



◆オヒョウやシナノキの繊維で
あんだ樹皮衣をアイヌ語で何という？

解説パネル 19 を読もう！

アイヌの人びとは［　　］の皮を使って冬用の靴を作りました。作るときには、靴ぞこに［　　］がくるようにします。これはすべり止めになります。



チェプケリ

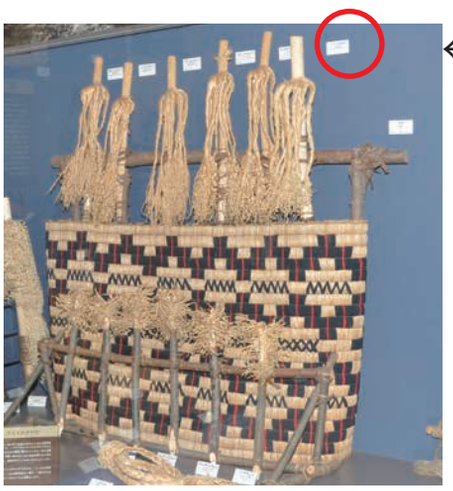
【カムイ・イオマンテ】

解説パネル24を読もう！

アイヌの人びとは動植物をはじめ、山や川、かみなり、火など自然界（しぜんかい）に存在（そんざい）するものを神として考えてきました。この神のことをアイヌ語で［　　］といいます。

◆「十勝川の神」のことを
アイヌ語でいうと？

［　　］



←ヒント

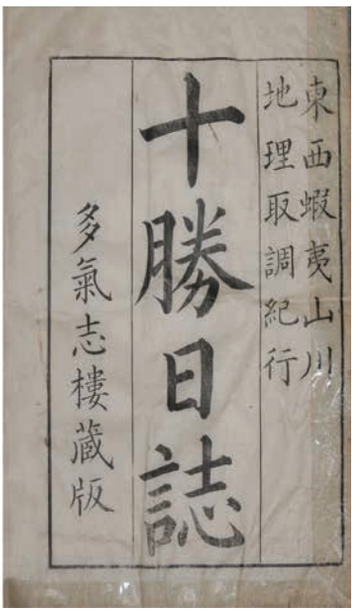
解説パネル27を読もう！

クマは毛皮と肉をおみやげに、神の国から人間の世界に遊びにおりてきたクマの神の化身した姿（すがた）です。人びとは遊びに来たクマの神をもてなし、神の魂（たましい）を国へ送りかえす儀式（ぎしき）を行いました。

山でとったクマを送る場合は
オプニカといい、子グマを
育ててから送る場合を
［　　］といいます。



【十勝日誌】



解説パネル34を読もう！

◆『十勝日誌』の著者の名前は
次のうちどれ？

1．村上貞助

2．伏根弘三と吉田菊太郎

3．松浦武四郎

【十勝のアイヌ文化伝承活動】

解説パネル36を読もう！

◆国の重要無形民俗文化財にも
指定されている、帯広でアイヌ
古式舞踊の伝承活動を行っている
団体の名称は？



パッタキウポポ（バッタのおどり）

【板つづり舟】



→
この舟をアイヌ語でなんという？